

## 看護学原論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

【担当者名】明野 伸次 (看護福祉学部 akeno@hoku-iryo-u.ac.jp)

### 【概要】

看護学を学ぶとは、看護実践のあり方、すなわち「誰に」「何のため」「何を」「どのように行うか」に関する知識とスキルを修得するということである。看護学原論では、看護学の原理として、看護実践の基盤となる概念を学ぶ。基盤となる概念をどのように考えるのか、それは一人ひとりの看護の哲学を形成し、看護の方法、つまり看護実践を規定するものとなる。授業の進め方として、まず「看護とは」何かを概観し、次に「看護実践の構造」では「何のため」「何を」「どのように行うか」を考察する。そして、「看護実践と看護理論」において看護実践の知識体系となる看護理論の特徴を学ぶ。

### 【学修目標】

1. 看護学を構成する中心概念（人間、健康、環境、看護）を説明できる
2. 看護実践および看護実践の構造とは何かを考察できる
3. ナイチンゲール以降の近代看護の特徴、および現代社会における看護職の役割と機能について理解できる
4. 看護実践の構造に看護理論がどのように結びつくのかを探求できる

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

看護師

### 【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護実践の構造ならびに看護実践を構成する概念について講義する。